

運転試験操作手順

| No | 運 転 操 作 手 順 | | 注 意 事 項 | |
|----|-------------|---|---------------------------------|---|
| 1 | 乗 車 | <p>[注：乗車前のフォークリフトの周囲及び下部の安全確認は省略する]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 運転席『左横』に進み、両足を揃えて立つ 2 左手はヘッドガードの柱（握手）をにぎり、右手は座席の背もたれをにぎる 3 左足をステップ上に乗せて乗車する 4 着席後の座席を調整する 5 後写鏡の写影を調整する 6 シートベルトを着用する 7 各種レバーが中立位置にあるかを確認する 8 駐車ブレーキがかかっているかを確認する 9 エンジンキーを始動スイッチに差込む 10 ブレーキペダルを踏込む 11 エンジンキーを「START」位置まで回してエンジンを稼働させる | 各 工 程 共 通 事 項 | <ol style="list-style-type: none"> 1 前後進レバーを入れる前に駐車ブレーキを外さない 2 前後進レバーを操作するときは、必ずブレーキペダルを踏込む 3 駐車ブレーキの外し忘れをしない 4 走行中は左手でハンドルノブを握っていること 5 走行中右手をレバーの上に乗せない（膝の上に置いていること） 6 発進及び曲がり角進行時に進行方向（左右を含む）の安全確認をする（前後進とも） 7 フェンスとの接触、コースから脱輪をしない 8 空フカシ、エンスト、誤動作、前後進のやり直しをしない 9 急発進をしない 急ブレーキをかけない 10 コース上ではインチングペダルは使わない。 11 方向指示器は省略してもよい |
| 2 | 発 進 | <ol style="list-style-type: none"> 1 フォークをリフトする（地上5～10cm） （注）計測開始 2 マストを後方一杯にティルトする（フォークの高さは地上15～20cm） 3 前方及び側面の左右の安全を確認する 4 前後進レバーを前進に入れ、駐車ブレーキを外す 5 静かに発進する | 1 2 3 4 | <ol style="list-style-type: none"> 1 リフトより先にティルトしない 2 マストを後ろ一杯にティルトする 3 フォークの高さが高過ぎないか（地上20cm以上） 4 フォークの高さが低過ぎないか（地上15cm以下） |

| No | 運 転 操 作 手 順 | | 注 意 事 項 |
|----|-------------|--|--|
| 3 | ①→② 走 行 | 架 台 ま で の 走 行 | |
| | | 1 前進で安全走行をする | 1 フェンスとの接触注意 |
| | | 2 架台の手前に来たら、徐行運転をする | 2 最徐行 |
| | | 3 架台上の積み荷パレットの中心線とフォークリフトの中心線を合わせ、ゆっくりと前進する | 3 フォークの先端がフォーク先端基準線の内側にあること (20cm 以内) |
| | | 4 フォーク先端基準線で停止する | 4 積み荷パレットの中心とフォークの左右のずれを少なく (約10cm 以内) |
| 4 | 取おろし | 1 マストを垂直にする | 1 荷に対してフォークを直角にする |
| | | 2 フォークをパレットの差し込み口に合うようにリフトする | 2 マストをティルトしながらリフトしない |
| | | 3 前方の安全を確認し、前後進レバーを前進に入れて、駐車ブレーキを外す | 3 2段取りをする |
| | | 4 静かに前進して、フォークの根元が10～20cm 残るように差し込み停止する | 4 フォークを差し込む時パレットをこすらない |
| | | 5 駐車ブレーキをかけて、前後進レバーを中立にする | 5 フォークを差し込む時パレットを突かない |
| | | 6 静かにリフトして止める。(パレット下面と架台上面の間隔を5～10cm にして止める) | 6 架台にフォークリフトを接触させない |
| | | 7 安全確認をする(積み荷の安全度、荷崩れ、フォークの位置等) | 7 リフト時の高さが高過ぎない (パレット下面と架台面までの間隔を10cm 以上にしない) |
| | | 8 後方の左右の安全を確認する | 8 荷重のためパレットが下がるが直す必要なし |
| | | 9 前後進レバーを後進に入れて、駐車ブレーキを外す | 9 パレット下面と架台が接触した状態でフォークリフトを移動させない |
| | | 10 静かに後進し、パレット端面と架台の端面が一致する位置にて停止する | 10 フォークでパレットをこすったり、パレットを引きずらない |
| | | 11 駐車ブレーキをかけて、前後進レバーを中立に入れる | 11 フォークを根元までさしこむ |
| | | 12 架台上にパレットを置く(フォークは、パレットの差し込み口の間で止める) | |
| | | 13 前方の左右の安全を確認する | |
| | | 14 前後進レバーを前進に入れて、駐車ブレーキを外す | |
| | | 15 パレット端面がフォークの垂直部に接触するまで静かに前進し、停止する | |

| No | 運 転 操 作 手 順 | | 注 意 事 項 |
|---|-----------------------------------|--|--|
| 4 | 取おろし | 16 駐車ブレーキをかけて、前後進レバーを中立に入れる | 12 荷をリフトした時は、常に荷の安定を確認する 13 パレット先端面がフォーク先端基準線の内側にあること（20cm以内） |
| 17 静かにリフトして止める（パレット下面と架台上面の間隔を5～10cmにして止める） | | | |
| 18 後方の左右の安全を確認して、前後進レバーを後進に入れる | | | |
| 19 駐車ブレーキを外し、パレット端面が架台に接触しない位置まで静かに後進し、停止する | | | |
| 20 駐車ブレーキをかけて、前後進レバーを中立に入れる | | | |
| 21 フォークを降下させる（パレット下面と床面の間隔を5～10cmにして止める） | | | |
| 22 マストを後ろ一杯にティルトする | | | |
| 5 | ③→④ 積荷後進走行 | 停 止 線 A ま で の 走 行 | |
| 1 後方の左右の安全を確認する | | | |
| 2 前後進レバーを後進に入れ、駐車ブレーキを外す | | | |
| 3 静かに後進し、④の位置で停止する | | | |
| 4 駐車ブレーキをかけて、前後進レバーを中立に入れる | | | |
| 6 | ⑤より停止線Aまで 積荷前進走行 | | 1 前方の左右の安全を確認する |
| 2 前後進レバーを前進に入れ、駐車ブレーキを外し、停止線Aまで前進する | | | |
| 3 停止線に近づいたら徐行し、パレット先端が停止線A内に納まる位置で一旦停止する | | | |
| 4 前後進レバーを中立に入れる | | | |
| 7 | 停止線Aより停止線Bまで 積荷前進走行と積荷後進走行 | 停 止 線 B ま で の 走 行 | |
| 1 前方の左の安全を確認する | | 1 停止線Cの内側まで入れる 〔パレットの先端からフェンスまでの距離が離れすぎていないか（20cm以内）〕 Cにおける一旦停止時間はおおむね4秒程度 2 Bにおける一旦停止時間はおおむね3秒程度 | |
| 2 前後進レバーを前進に入れ、停止線Cの内側まで前進して停止する | | | |
| 3 駐車ブレーキをかけて、前後進レバーを中立にいれる | | | |
| 4 後方の左右の安全を確認し、前後進レバーを後進に入れて、駐車ブレーキを外し、停止線Bまで後進する | | | |

| No | 運 転 操 作 手 順 | | 注 意 事 項 |
|----|--|--|---|
| | 積荷 後進 走行 | 5 停止線に近づいたら徐行し、カウンタウエイトの先端が停止線B内に納まる位置で一旦停止する 6 前後進レバーを中立に入れる | 3 停止時の審査基準の詳細は、「停止線審査要領」を参照 4 ブレーキペダルは踏んでいる |
| 8 | 停止線Bより⑩まで 積荷後進走行 ・ 積荷前進走行 | <p style="text-align: center;">架 台 ま で の 走 行</p> 1 後方の安全を確認する 2 前後進レバーを後進に入れ、後進で⑧まで安全走行し停止する 3 駐車ブレーキをかけ、前後進レバーを中立に入れる 4 前方の左右の安全を確認する 5 前後進レバーを前進に入れ、駐車ブレーキを外し前進にて⑩まで安全走行をする 6 架台の手前に来たら徐行運転をする 7 架台の中心線とフォークリフトの中心線を合わせ、ゆっくりと前進する 8 架台の手前で停止する 9 駐車ブレーキをかけ、前後進レバーを中心に入れる | 1 パレット先端面がフォーク先端基準線の内側にあること (20cm 以内) |
| 9 | 積付け | 1 マストを垂直にする 2 パレットを静かにリフトして止める (パレット下面と架台上面との間隔を10~15cm する) 3 パレット下面と架台上面との間隔の適否を確認する 4 前方の左右の安全を確認する 5 前後進レバーを前進に入れ、駐車ブレーキを外し、静かに架台へ前進する 6 パレット端面と架台端面とが一致する位置で停止する 7 駐車ブレーキをかけ、前後進レバーを中立に入れる 8 パレットを静かに架台上に下ろす (フォークはパレットの差し込み口の間で止める) 9 後方の左右の安全を確認し、前後進レバーを後進に入れ、駐車ブレーキを外す | 1 マストをティルトしたままリフトしない 2 パレットと架台との接触に注意する 3 走りながらリフトやティルトの操作をしない 4 フォークリフト前輪を架台に接触させない 5 2段取りとする 6 荷の安定を確認する |

| No | 運 転 操 作 手 順 | | 注 意 事 項 |
|--------------------|------------------------------------|---|------------------------------------|
| | 10 | フォーク垂直部とパレット端面の間隔が10～20cm位になるまで後進する | 7 フォークを抜くときパレットをこすらないようにする |
| | 11 | 駐車ブレーキをかけ、前後進レバーを中立に入れる | |
| | 12 | パレット下面と架台上面との間隔が5～10cmになるようにフォークをリフトする | |
| | 13 | 前方の左右の安全を確認し、前後進レバーを前進に入れ、駐車ブレーキを外す | |
| | 14 | 定位置（パレットを置く位置）まで前進して停止する | 8 白色テープでマーキングされている（1.20m×1.20m） |
| | 15 | 駐車ブレーキをかけ、前後進レバーを中立に入れる | 9 定位置の枠から出ないようにする |
| | 16 | パレットを静かに架台上に下ろす（フォークを差し込み口の間で止める） | 10 荷の安定を確認する |
| | 17 | 後方の左右の安全を確認する | 11 フォークがパレットをこすらないようにする |
| | 18 | 前後進レバーを後進に入れ、駐車ブレーキを外し、フォーク先端が架台に接触しない位置まで後進し、停止する | 12 フォークの先端がフォーク先端基準線内にあること（20cm以内） |
| | 19 | 駐車ブレーキをかけ、前後進レバーを中立に入れ、フォークを地上5～10cmになるまで降下する | 13 フォークを降下する前にティルトしない |
| | 20 | マストを一杯にティルト（後傾）する | |
| スタート地点までの走行及び停止と下車 | | | |
| 10 | ⑪→⑫ 後進 走行 ゴール 停車 下車 | 1 後方の左右の安全を確認する | |
| | | 2 前後進レバーを後進に入れ、駐車ブレーキを外し後進する | 1 発進時フォークの高さが高過ぎないか（20cm以上） |
| | | 3 スタート地点で停止する | 2 停止位置不良（前後30cm以上左右10cm以上。白線で明示する） |
| | | 4 駐車ブレーキをかけ、前後進レバーを中立にする | |
| | | 5 マストを少し前にティルトし、フォークが軽く地面に接触するまで降下する | |
| | | 6 エンジンキーを「OFF」の位置まで回して、エンジンを止める | 3 飛び降りない |
| | | 7 左側の前後方向の安全を確認する | 4 左側より降りる |
| | | 8 左手でヘッドガードの柱（握手）をにぎり、右手は座席の背もたれをもって、足元の安全を目視で確認し後ろ向きにて下車する | 5 基準時間の5分30秒を越えないように |